

第9回次世代ポリオレフィン総合研究会 プログラム

2014/7/25

NO.	8月7日(木)	発表者	座長	所属	講演題目
	10:30-10:35	寺野 稔(開会の辞)	石原	北陸先端大学	
1	10:35-11:00	野村 琴広		首都大学東京	精密配位共重合による環状オレフィン系ポリマーの創製
2	11:00-11:25	大槻 安彦		プライムポリマー	フィルム成形工程の粘弾性流動解析
3	11:25-11:50	竹内 大介		東京工業大学	二層型複核金属錯体触媒によるオレフィン重合および共重合
4	11:50-12:15	大越 隆介/堀田篤		慶応義塾大学	低温冷却によって作製したイソタクチックポリプロピレン(iPP)ゲル
5	12:15-12:30	山田 理恵		東北電子産業	ケミルミネッセンス法によるポリオレフィンの酸化劣化評価 -最新昇温測定の実用例について-
	12:30-13:30	昼食(60分)			
6	13:30-14:20	高柳 昌生(基調講演)	筒井	元日本ライセンス協会会長	特許とビジネス
7	14:20-14:45	比江嶋 祐介		金沢大学	ラマン分光から見たポリオレフィンの構造変化
8	14:45-15:10	黒田 真一		群馬大学	ケナフ繊維強化プラスチックの熱伝導特性に関する研究
9	15:10-15:35	中谷 久之		北見工業大学	擬似酵素を用いたポリプロピレン/ナノセルロース複合材料用相溶剤の開発
	15:35-15:50	休憩(15分)			
10	15:50-16:15	徳満 勝久	塩野	滋賀県立大学	ポリシラン添加PPの融着特性改質効果に関する研究
11	16:15-16:40	田中 亮		広島大学	新規含ホウ素アルミニウム錯体の合成とオレフィン重合触媒としての応用
12	16:40-17:05	小林 俊哉 /永田晃也		九州大学	石油化学産業と地域の科学技術政策(仮)
13	17:05-17:25	阿部 紀里子		首都大学東京	首都大学東京が目指す産学官連携のカタチ
	17:25-17:30	寺野 稔(連絡事項)		北陸先端大学	

17:50-19:50 懇親会 キオッチョラ・ピッツェリア(chiocciol@pizzeria) 司会:谷池

NO.	8月8日(金)	発表者	座長	所属	講演題目
14	9:00-09:25	谷池 俊明	内野	北陸先端大学	実験・計算化学の相互利用によるアルコキシシラン系外部ドナーの構造性能相関の解明
15	9:25-09:50	高橋 俊		住友化学	環境負荷低減に寄与するエラストマーの開発
16	9:50-10:15	近藤 兼司		スギノマシン	バイオマス原料由来ナノファイバー" BiNFis"と応用事例の紹介
17	10:15-10:40	国岡 正雄		産業技術総合研究所	プラスチック、ゴム製品のバイオベース度測定法のISO国際標準規格化
	10:40-10:50	休憩(10分)			
18	10:50-11:15	河井 貴彦	佐藤	群馬大学	無機表面における高分子の結晶化
19	11:15-11:40	山口 政之		北陸先端大学	熱履歴に伴うポリエチレンの構造変化
20	11:40-12:05	志賀 昭信		ルモックス技研	オレフィン重合触媒の構造活性相関
21	12:05-12:30	石川 慎一		ADEKA	添加剤によるポプロピレン樹脂の高機能化～自動車用ポリプロピレン材料を中心に～
	12:30-13:40	昼食(70分)			
22	13:40-14:25	永井 由佳里(基調講演)	野村	北陸先端大学	美しいデザインの技と理
23	14:25-14:50	小柳津 英知		富山大学	ポリオレフィンの価格決め慣行の変遷について
24	14:50-15:15	五十嵐 敏郎		金沢大学	今後のプラスチック成形に対する私案
	15:15-15:25	休憩(10分)			
25	15:25-15:50	石井 敦	魚住	日本軽金属	アルミナ、水酸化アルミニウムの樹脂フィラーとしての適用事例の紹介
26	15:50-16:15	飛鳥 一雄		日本ポリプロ	新規高溶融張力ポリプロピレンのご紹介
27	16:15-16:40	寺野 稔		北陸先端大学	新規高機能性ポリオレフィン系材料の開発
	16:40-16:45	郷 茂夫(閉会の辞)			プリディクション郷事務所